



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月14日

上場会社名 中越パルプ工業株式会社
 コード番号 3877 URL <http://www.chuetsu-pulp.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長
 定時株主総会開催予定日 2021年6月23日
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

(氏名) 植松 久
 (氏名) 秋永 吉男 TEL 0766-26-2404
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月24日

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	81,938	△13.9	△347	—	△319	—	△1,052	—
2020年3月期	95,140	△1.6	2,057	—	1,985	—	919	27.4

(注) 包括利益 2021年3月期 △674百万円 (—%) 2020年3月期 671百万円 (—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	△78.85	—	△2.2	△0.3	△0.4
2020年3月期	68.85	—	1.9	1.6	2.2

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 51百万円 2020年3月期 24百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	123,490	47,455	38.4	3,550.96
2020年3月期	120,833	48,464	40.1	3,626.47

(参考) 自己資本 2021年3月期 47,408百万円 2020年3月期 48,417百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	5,965	△3,898	6,284	15,575
2020年3月期	8,344	△4,651	△2,387	7,222

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00	667	72.6	1.4
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00	—	76.3	—

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	42,000	12.3	300	—	350	—	0	—	0.00
通期	85,000	3.7	1,650	—	1,750	—	700	—	52.43

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	13,354,688 株	2020年3月期	13,354,688 株
② 期末自己株式数	2021年3月期	3,820 株	2020年3月期	3,611 株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	13,351,001 株	2020年3月期	13,351,335 株

(参考)個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	76,644	△14.0	△641	—	△577	—	△1,204	—
2020年3月期	89,140	△1.8	1,633	—	1,596	—	654	279.7

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	△90.22	—
2020年3月期	49.00	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	114,297	40,918	35.8	3,064.83
2020年3月期	112,884	42,205	37.4	3,161.20

(参考) 自己資本 2021年3月期 40,918百万円 2020年3月期 42,205百万円

2. 2022年3月期の個別業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	40,000	14.6	250	—	250	—	△150	—	△11.24
通期	81,000	5.7	1,400	—	1,400	—	600	—	44.94

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいた見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、今後様々な要因の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報)	14
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	17
4. その他	17
(1) 役員の異動	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当期の経営成績

2020年度は、初頭からの新型コロナウイルス感染症拡大に起因する景気減速が紙の消費にも影響を及ぼし、国内市場が停滞するなか、紙パルプ事業においては生産および販売の減少を余儀なくされる状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは中期3ヶ年計画「フオワード304」の達成年度として、需要減退に対応したグループ事業領域の再構築の推進や、ナノフォレスト事業など新規事業分野の展開、既存事業の発展強化に注力してまいりました。

当期の営業成績につきましては、下期後半は景気回復に期待が高まる状況のなか、需要の裾野が広い非塗工紙を中心とした消費の持ち直しを適宜に捉え、販売数量の確保に注力したものの、期初からの新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動の落ち込みが激しかったことにより、売上高は81,938百万円と前期に比べ13,202百万円の大幅な減収となりました。

収益面では、徹底したコスト削減対策の推進など損失の削減に努めましたが、販売減少による収益悪化の影響を吸収するに至らず、営業損失347百万円（前年同期は2,057百万円の営業利益）、経常損失319百万円（前年同期は1,985百万円の経常利益）となりました。

また当期は、休止中の高岡工場5号抄紙機の減損損失を特別損失として計上したことなどで、1,052百万円の親会社株主に帰属する当期純損失となりました。

以上の結果、当期の連結業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	81,938百万円（前年同期比 13.9%減収）
連結営業損失	347百万円（前年同期は2,057百万円の連結営業利益）
連結経常損失	319百万円（前年同期は1,985百万円の連結経常利益）
親会社株主に帰属する当期純損失	1,052百万円（前年同期は919百万円の親会社株主に帰属する当期純利益）

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

(紙・パルプ製造事業)

新型コロナウイルス感染症によるイベントの自粛等の影響で販売数量が減少したことや、販売減少に伴い減産したことにより、大幅な減収減益となりました。

◎新聞用紙

新聞用紙の販売につきましては、構造的な要因による発行部数の減少と新型コロナウイルス感染症による広告減での頁数減少という複合要素により、数量・金額ともに前年を下回りました。

◎印刷用紙

印刷用紙の販売につきましては、新型コロナウイルス感染症による国内イベントの自粛等の影響により販売数量は減少、輸出増販に取り組みましたが補う事が出来ず、数量・金額ともに前年を下回りました。

◎包装用紙

包装用紙の販売につきましては、自動車関連・インバウンド需要減少の影響を受けて国内販売量は前年を下回り、金額も前年を下回りました。

◎特殊紙・板紙及び加工品等

特殊紙・板紙及び加工品等の販売につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響で高級白板紙分野にて需要減退を余儀なくされましたが、壁紙は前年並みを確保し、巣ごもり需要の食品関連を中心とした加工原紙も前年を上回ることが出来ました。しかしながら、高級白板紙の販売減を補い切れず、数量・金額ともに前年を下回りました。

◎パルプ

パルプの販売につきましては、世界的なパルプ市況の軟化もあり、数量・金額ともに前年を下回りました。

これらにより、当事業の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	70,580百万円（前年同期比 15.4%減収）
連結営業損失	2,150百万円（前年同期は518百万円の連結営業利益）

(発電事業)

安定操業の維持に努めたことや、隔年で行っているボイラーの定期検査が今年度はなかった影響もあり増収増益となりました。

これらにより、当事業の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	7,131百万円（前年同期比 2.1%増収）
連結営業利益	1,562百万円（前年同期比 20.7%増益）

(その他)

紙・パルプ製品の減産減販の影響で生産設備の稼働率が低下したことや高岡工場の設備更新による定期点検停止が前年と比較して長期間となったことなどで紙断裁選別包装・運送事業等の紙・パルプ製造事業を補助する「その他の事業」において減収減益となりました。

これらにより、当事業の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	17,162百万円（前年同期比 12.7%減収）
連結営業利益	139百万円（前年同期比 12.9%減益）

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2.2%増加し、123,490百万円となりました。これは主として、有形固定資産が減価償却などにより2,325百万円減少しましたが、新型コロナウイルスの影響長期化を勘案し、手元流動性を厚くしたため現金及び預金が8,352百万円増加したことによります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ5.1%増加し、76,034百万円となりました。これは主として、支払手形および買掛金が2,961百万円減少しましたが、金融機関からの借入金が6,649百万円増加したことによります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2.1%減少し、47,455百万円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する当期純損失1,052百万円、配当金の支払333百万円により利益剰余金が1,386百万円減少したことによります。また自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.7ポイント減少し38.4%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ8,352百万円増加し、15,575百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は5,965百万円（前連結会計年度比28.5%減少）となりました。

これは主として、税金等調整前当期純損失1,093百万円、減価償却費6,764百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は3,898百万円（前連結会計年度比16.2%減少）となりました。

これは主として、有形固定資産の取得による支出4,776百万円、長期貸付金の回収による収入671百万円、短期貸付金の純増減額による収入324百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は6,284百万円（前連結会計年度は2,387百万円の支出）となりました。

これは主として長期借入による収入17,300百万円、短期借入金の純増減額1,900百万円による収入と、長期借入金の返済による支出12,550百万円によるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期
自己資本比率(%)	42.0	39.1	39.2	40.1	38.4
時価ベースの自己資本比率(%)	23.5	20.2	15.0	15.3	13.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	3.7	6.5	7.5	5.5	8.8
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	51.9	31.4	27.4	37.2	25.6

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

(注2) 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

(注3) 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

(注4) 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(注5) 利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大に起因する景気減速が紙の消費にも影響を及ぼし、大きく販売数量を落としました。2021年度は、大きく落ち込んだ2020年度と比較し販売数量の回復を見込むとともに、新規需要を含めた拡販、パルプ販売拡大の取組みに加え、新たなコストダウンを推進いたします。

さらに今後は、不採算事業の見直しなどによる事業収益の改善、成長事業・新規事業への取組みを強化し、安定した収益を確保できる事業基盤を確立し、将来に亘り持続発展していく会社を目指してまいります。

2022年3月期の連結業績見通しにつきましては、以下のとおり予定しております。

連結売上高	85,000百万円（前年同期比 3.7%増収）
連結営業利益	1,650百万円（前年同期は347百万円の連結営業損失）
連結経常利益	1,750百万円（前年同期は319百万円の連結経常損失）
親会社株主に帰属する当期純利益	700百万円（前年同期は1,052百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）

なお、上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいた見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、今後様々な要因の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主価値と企業価値の持続的向上を目指し、業績の状況や企業体質の強化ならびに今後の事業展開等を勘案しながら十分な株主資本の水準を維持するとともに、株主各位に対する利益還元のための安定配当の実施を基本方針としております。

2020年度の配当金につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて紙の需要が大きく減退し厳しい収益状況にあることから無配とさせていただきます。

2021年度の配当金につきましては、中間配当20円、期末配当20円の通期40円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内同業他社との比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。なお、国際財務報告基準（I F R S）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,222	15,575
受取手形及び売掛金	20,972	21,286
商品及び製品	10,597	8,586
仕掛品	477	420
原材料及び貯蔵品	5,783	4,319
その他	2,919	2,855
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	47,970	53,041
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	50,487	51,753
減価償却累計額	△33,675	△34,683
建物及び構築物（純額）	16,811	17,070
機械装置及び運搬具	240,212	239,809
減価償却累計額	△210,852	△212,490
機械装置及び運搬具（純額）	29,359	27,318
土地	7,558	7,558
リース資産	211	222
減価償却累計額	△140	△147
リース資産（純額）	71	75
建設仮勘定	2,477	1,900
その他	3,090	3,154
減価償却累計額	△2,749	△2,784
その他（純額）	340	370
有形固定資産合計	56,618	54,293
無形固定資産		
その他	274	246
無形固定資産合計	274	246
投資その他の資産		
投資有価証券	7,295	7,768
関係会社長期貸付金	5,685	5,040
繰延税金資産	2,631	2,680
その他	464	472
貸倒引当金	△107	△52
投資その他の資産合計	15,969	15,908
固定資産合計	72,862	70,448
資産合計	120,833	123,490

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,764	11,802
短期借入金	32,850	30,568
リース債務	26	29
未払法人税等	450	133
賞与引当金	477	466
その他	4,306	4,425
流動負債合計	52,875	47,425
固定負債		
長期借入金	13,864	22,796
リース債務	51	52
関係会社事業損失引当金	51	49
退職給付に係る負債	5,429	5,598
その他	96	111
固定負債合計	19,493	28,608
負債合計	72,368	76,034
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,864	18,864
資本剰余金	16,253	16,253
利益剰余金	13,315	11,929
自己株式	△7	△7
株主資本合計	48,426	47,039
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	385	745
為替換算調整勘定	△48	△70
退職給付に係る調整累計額	△345	△306
その他の包括利益累計額合計	△8	368
非支配株主持分	47	47
純資産合計	48,464	47,455
負債純資産合計	120,833	123,490

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年 4月 1日 至 2020年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月 31日)
売上高	95,140	81,938
売上原価	77,540	68,126
売上総利益	17,600	13,811
販売費及び一般管理費		
販売手数料	4,877	4,406
運搬費	5,774	4,785
保管費	1,520	1,589
役員報酬	262	223
給料及び手当	1,246	1,276
退職給付費用	95	105
研究開発費	272	286
減価償却費	103	124
その他	1,390	1,360
販売費及び一般管理費合計	15,542	14,159
営業利益又は営業損失 (△)	2,057	△347
営業外収益		
受取利息	94	84
受取配当金	128	128
受取手数料	6	5
設備賃貸料	27	12
スクラップ売却益	12	14
為替差益	-	133
保険差益	15	7
持分法による投資利益	24	51
その他	41	19
営業外収益合計	351	456
営業外費用		
支払利息	224	235
支払手数料	25	68
減価償却費	66	69
為替差損	32	-
その他	74	54
営業外費用合計	422	427
経常利益又は経常損失 (△)	1,985	△319

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年 4月 1日 至 2020年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月 31日)
特別利益		
投資有価証券売却益	1	0
固定資産売却益	52	2
関係会社清算益	2	-
その他	1	-
特別利益合計	57	3
特別損失		
固定資産除却損	310	184
減損損失	-	482
特別退職金	8	27
投資有価証券評価損	290	0
その他	3	83
特別損失合計	613	778
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失 (△)	1,429	△1,093
法人税、住民税及び事業税	341	111
法人税等調整額	170	△152
法人税等合計	512	△40
当期純利益又は当期純損失 (△)	917	△1,052
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	△1	0
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失 (△)	919	△1,052

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年 4月 1日 至 2020年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月 31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	917	△1,052
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△196	274
退職給付に係る調整額	27	43
持分法適用会社に対する持分相当額	△76	59
その他の包括利益合計	△246	377
包括利益	671	△674
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	672	△674
非支配株主に係る包括利益	△1	0

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株 主持分	純資産合 計
	資本金	資本剰余 金	利益剰余 金	自己株式	株主資本 合計	その他有 価証券評 価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る調 整累計額	その他の 包括利益 累計額合 計		
当期首残高	18,864	16,253	13,063	△6	48,175	653	△35	△380	237	48	48,461
当期変動額											
剰余金の配当			△667		△667						△667
親会社株主に帰属す る当期純利益			919		919						919
自己株式の取得				△0	△0						△0
株主資本以外の項目 の当期変動額（純 額）						△268	△13	35	△246	△1	△247
当期変動額合計	—	—	251	△0	250	△268	△13	35	△246	△1	3
当期末残高	18,864	16,253	13,315	△7	48,426	385	△48	△345	△8	47	48,464

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株 主持分	純資産合 計
	資本金	資本剰余 金	利益剰余 金	自己株式	株主資本 合計	その他有 価証券評 価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る調 整累計額	その他の 包括利益 累計額合 計		
当期首残高	18,864	16,253	13,315	△7	48,426	385	△48	△345	△8	47	48,464
当期変動額											
剰余金の配当			△333		△333						△333
親会社株主に帰属す る当期純損失（△）			△1,052		△1,052						△1,052
自己株式の取得				△0	△0						△0
株主資本以外の項目 の当期変動額（純 額）						360	△21	39	377	0	378
当期変動額合計	—	—	△1,386	△0	△1,386	360	△21	39	377	0	△1,008
当期末残高	18,864	16,253	11,929	△7	47,039	745	△70	△306	368	47	47,455

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年 4月 1日 至 2020年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月 31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	1,429	△1,093
減価償却費	6,980	6,764
減損損失	-	482
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△55
受取利息及び受取配当金	△222	△212
支払利息	224	235
投資有価証券売却損益(△は益)	△1	△0
固定資産除却損	42	53
投資有価証券評価損益(△は益)	290	0
固定資産売却損益(△は益)	△52	△2
売上債権の増減額(△は増加)	3,183	△313
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,970	3,530
その他の資産の増減額(△は増加)	32	△13
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,513	△2,962
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	258	227
賞与引当金の増減額(△は減少)	22	△11
その他の負債の増減額(△は減少)	△207	△146
未払又は未収消費税等の増減額	46	△60
持分法による投資損益(△は益)	△24	△51
関係会社清算損益(△は益)	△2	-
関係会社事業損失引当金の増減額(△は減少)	△1	△1
その他	△23	44
小計	8,490	6,412
利息及び配当金の受取額	223	212
利息の支払額	△223	△233
法人税等の支払額	△145	△425
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,344	5,965
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,671	△4,776
有形固定資産の売却による収入	52	3
投資有価証券の取得による支出	△5	△2
投資有価証券の売却による収入	15	1
短期貸付金の純増減額(△は増加)	392	324
長期貸付けによる支出	△3	△0
長期貸付金の回収による収入	675	671
関係会社の整理による収入	12	-
資産除去債務の履行による支出	△5	△0
その他	△114	△119
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,651	△3,898

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年 4月 1日 至 2020年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月 31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	400	1,900
長期借入れによる収入	3,200	17,300
長期借入金の返済による支出	△5,292	△12,550
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△665	△333
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△28	△31
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,387	6,284
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,303	8,352
現金及び現金同等物の期首残高	5,918	7,222
現金及び現金同等物の期末残高	7,222	15,575

(5)連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(1)報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、紙・パルプ製造事業及び発電事業を主たる事業とし、それら主たる事業を補助する事業を営んでおり、その事業区分ごとに当社及び当社の連結子会社が独立した経営単位として単一もしくは複数の事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、「紙・パルプ製造事業」・「発電事業」を報告セグメントとしております。

(2)各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「紙・パルプ製造事業」は、紙製品・紙加工品原紙、パルプの製造・販売を主な事業としており、「発電事業」は売電を主な事業としております。また、「その他」は、ナノフォレスト事業、紙加工品製造、造林・緑化事業、木材チップの購入・販売、運送、機械設備設計施工(修理)、建設施工、工業薬品の購入・製造・販売、紙断裁選別包装、保険代理、中越エコプロダクツ事業等の様々な方面から紙・パルプ製造事業、発電事業を補助しております。

(3)報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	紙・パルプ 製造事業	発電事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	79,996	6,983	86,980	8,160	95,140
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,440	—	3,440	11,488	14,928
計	83,437	6,983	90,421	19,648	110,069
セグメント利益	518	1,295	1,813	159	1,973

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ナノフォレスト事業、紙加工品製造事業、運送事業、設備設計施工・修理事業、原材料事業、紙断裁選別包装事業、中越エコプロダクツ事業等を含んでおります。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	紙・パルプ 製造事業	発電事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	67,360	7,131	74,491	7,446	81,938
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,219	—	3,219	9,715	12,935
計	70,580	7,131	77,711	17,162	94,873
セグメント利益 又は損失(△)	△2,150	1,562	△587	139	△448

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ナノフォレスト事業、紙加工品製造事業、運送事業、設備設計施工・修理事業、原材料事業、紙断裁選別包装事業、中越エコプロダクツ事業等を含んでおります。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：百万円）

売上高	金額
報告セグメント計	90,421
「その他」の区分の売上高	19,648
セグメント間取引消去	△14,928
連結財務諸表の売上高	95,140

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,813
「その他」の区分の利益	159
セグメント間取引消去	81
その他の調整額	2
連結財務諸表の営業利益	2,057

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（単位：百万円）

売上高	金額
報告セグメント計	77,711
「その他」の区分の売上高	17,162
セグメント間取引消去	△12,935
連結財務諸表の売上高	81,938

（単位：百万円）

利益又は損失（△）	金額
報告セグメント計	△587
「その他」の区分の利益	139
セグメント間取引消去	84
その他の調整額	16
連結財務諸表の営業損失（△）	△347

（一株当たり情報）

前連結会計年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）		当連結会計年度 （自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）	
1株当たり純資産額	3,626.47円	1株当たり純資産額	3,550.96円
1株当たり当期純利益	68.85円	1株当たり当期純利益	△78.85円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2020年3月31日)	当連結会計年度末 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額 (百万円)	48,464	47,455
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	47	47
普通株式に係る期末の純資産額 (百万円)	48,417	47,408
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数 (千株)	13,351	13,350

3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損失 (△) (百万円)	919	△1,052
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利 益又は親会社株主に帰属する当期純損失 (△) (百万円)	919	△1,052
普通株式の期中平均株式数 (千株)	13,351	13,351

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

本日別途公表しております「役員の変動に関するお知らせ」をご参照ください。